

孫やひ孫が活動継承  
 県遺族会青年部発足  
 県遺族会(高橋千蔵会長)  
 の青年部発足式が11日、山

形市の同会事務所で行われ  
 た。第2次世界大戦の戦没  
 者の孫やひ孫ら約50人が出  
 席し、戦争の悲惨さや平和  
 の尊さを語り継いでいくこ



とを誓い合った写真。

高橋会長は「県遺族会設  
 立70周年の今年、青年部が  
 発足するのは意義深い。遺  
 児世代と両輪となり、平和  
 の尊さを後世に伝えてほし  
 い」と激励し、顧問に就任  
 した大沼瑞穂参院議員があ  
 いさつした。青年部長に就  
 任した山岸正昭さん(57)は  
 山形市は「独自の活動を  
 模索しながら、平和を維持  
 する大切さを訴えていこ  
 う」と呼び掛けた。引き続  
 き参加者は県護国神社を参  
 拝した。

主な活動は靖国神社参拝

や慰霊活動など。県遺族会  
 の調査によると本県出身戦  
 没者の孫が約2千人、ひ孫  
 が約1600人いるとみら  
 れ、各市町村の支部を通じ  
 て会への参加を呼び掛けて  
 いく。

青年部の発足は、戦没者  
 の妻や遺児の高齢化が進  
 んでいることから、歴史  
 の継承に取り組むのが狙  
 い。日本遺族会が呼び掛  
 け、全国で進められてい  
 る。